

# 英検 E S G の取組を活用した小中連携による外国語教育の充実

和寒町立和寒小学校 学級数 10 (校長 高田 秀人)

## 実践の概要

和寒町ではグローバル人材の育成に向け、令和4年度から中学校の英語担当教員が小学校第6学年の外国語の授業を行う「乗り入れ授業」を開始しており、英検 E S G の結果を基に、課題に応じた取組を行ったり、小中合同で CAN-DO リストの見直し・改善を図ったりするなど、小中連携による授業改善を推進している。

## 1 実践の目的

英検 E S G の結果を基に、課題に応じた取組を行ったり、合同で CAN-DO リストの見直し・改善を図ったりするなど、小中が連携して授業改善を推進することにより、児童の英語力の向上を図る。

## 2 実践内容

### (1) 実施計画

- ・ 5月 教頭、第6学年学級担任、中学校英語担当教員による英検 E S G の結果分析
- ・ 6月以降 課題に応じた取組の実施、指導パッケージの活用
- ・ 通年 乗り入れ授業、英検 E S G の結果や児童の実態を踏まえた CAN-DO リストの見直し・改善

### (2) 取組の具体

#### コミュニケーション能力を高めるリスニングの取組

英検 E S G のリスニングの結果から、児童が自分の力で質問したり、答えたりすることに課題が見られた。そのため、授業の帯活動の中で、好きなことや興味があることなど児童にとって関心のある事柄について、自分の力で質問したり、答えたりする活動を多く取り入れた。

#### 読み取りながら語彙数を増やすリーディングの取組

英検 E S G のリーディングの結果から、音と文字の対応について課題が見られた。そのため、児童にとって身近な内容を題材とした視覚情報を頼りにしながら、自分の力で情報を読み取る活動を取り入れた。

#### 児童の実態に応じた CAN-DO リストの見直し・改善

英検 E S G の結果を CAN-DO リストに反映させ、各単元の導入時に、児童と「何ができるようになるか」などを確認するとともに、CAN-DO リストの内容項目の見直しを図った。



【情報を読み取る様子】

### (3) 取組後の点検・評価、工夫改善

児童がこれまで学習したコミュニケーションの型の中から、目的、場面、状況等に応じて選択し、自分の伝えたいことを表現できるようになった。また、パフォーマンステストを位置付けることで、単元を通して言語活動を充実させることができ、児童の資質・能力の向上につながった。

### (4) 改善後の取組

児童がコミュニケーションを行う上で、自分が伝えたいことを表現するために選択できるコミュニケーションの型を提示したり、増やしたりするとともに、音と文字をつなぐ活動を通して単語の定着を図る。また、各単元の終了後、指導パッケージの「すごろく形式の言語活動ワークシート」を活用し、表現などの定着を図ったり、児童の実態を踏まえ、CAN-DO リストの見直し・改善を図ったりするとともに、学期末において、児童に CAN-DO リストを基にした到達度アンケートを実施する。



【やり取りの様子】

## 3 実践のポイント

小中合同で、年度当初に英検 E S G の結果を分析し、課題に応じた取組や CAN-DO リストの見直し・改善、指導パッケージの活用など、指導の充実を図ったこと